

**サステナブル・シーフード1食で、無電化地域にソーラーランタン1台を寄贈  
大阪・梅田のカフェで「みんなで“AKARI”アクション」7/21 開始  
目標は200台。あなたの小さなアクションが誰かの大きなパワーになる**

パナソニック株式会社（以下、パナソニック）のショールーム「パナソニックセンター大阪」（大阪市北区大深町4番20号 グランフロント大阪 南館内）2階のカフェ「Re-Life ON THE TABLE（リライフ オン ザ テーブル）」で7月21日より、サステナブル・シーフード（サスシー）メニュー1つの注文に対して、インドネシアに1台のソーラーランタンを届ける「みんなで“AKARI”アクション」を実施します。



アボカドシュリンプ クラフトサンド



インドネシアの無電化地域に寄贈

**■ 社会課題を“自分ゴト化”してもらおうことを目的に企画。**

**環境に適した(right)食事で、あかり(light)を届けます**

パナソニックは社員のSDGsに関する興味・関心を高める目的で2018年、社員食堂にサステナブル・シーフードの継続的な導入を日本で初めて実現しました。サステナブル・シーフードとは、資源管理や環境・社会に配慮した持続可能な方法で生産された水産物のことです。2021年6月末時点で国内拠点の約半数にあたる53拠点の社員食堂にサステナブル・シーフードの導入を行いました。

パナソニックセンター大阪2階のカフェ「Re-Life ON THE TABLE」では来店されるお客様にも身近なことから、社会課題にアクションしてほしいという思いから、サステナブル・シーフードのあったメニューを2020年11月から提供しています。一方で、2019年からは古本寄贈ボックスも設置。提携会社を通じて得た古本の売却益で無電化地域にソーラーランタンを寄贈しています。

「みんなで“AKARI”アクション」の活動を加速させるため、7月21日からサステナブル・シーフードメニューによる期間限定イベントを開催します。対象メニュー1つの注文に対して、インドネシアの無電化地域にソーラーランタンを一つ寄贈する取り組みです。実施期間中に200台の寄贈を目標としています。寄贈後は、くらしの様子などを伝えるパネル展などを開催し、自分の行動が社会課題の解決に役立っていることを「見える化」します。

**■ 「みんなで“AKARI”アクション」詳細**

期 間：7月21日（水）～8月31日（火）

場 所：「Re-Life ON THE TABLE」

（パナソニックセンター大阪2階）

対象メニュー：アボカドシュリンプ クラフトサンド（単品950円）

※価格は税込みです



**■ 補足資料：パナソニックセンター大阪「あるままBASE」について**

パナソニックセンター大阪1階に今年4月にオープンした、新コーナー。若者たちの「もっとこんな社会にしたい」という想いやアクションを応援することで、SDGsの達成や、他のさまざまな社会課題の解決促進を目指しています。

関連URL：[https://www.panasonic.com/jp/corporate/center-osaka/about/arumama\\_base.html](https://www.panasonic.com/jp/corporate/center-osaka/about/arumama_base.html)

**●取材に関するお問い合わせ●**

パナソニックセンター大阪 広報事務局 担当：八尾/田村

TEL：06-4708-3766 E-mail:pr@raple.co.jp